

川の声

肝属川情報紙第43号
平成21年9月発行

国土交通省 大隅河川国道事務所

TEL.0994-65-2541

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

川の急激な増水には気をつけよう！

今年の梅雨も終わり、早2ヶ月が過ぎました。梅雨が明けてからは、ほぼ毎日のように気温が30度を超える真夏日が続きましたね。そのため、「さっと雨を降らす夕立」が恋しいと思った人が、たくさんいたことと思います。しかし、この夏には付き物の「地面や道路をさっと冷やしてくれるような夕立」とは違い、『ゲリラ豪雨』という名でニュースや新聞にも登場してくる集中豪雨は、短時間の間にバケツの水をひっくり返したような雨が一気に降って『鉄砲水』となり、全国の各地で死者を出すなどの痛ましい被害を発生させています。

このような『ゲリラ豪雨』が降ると川の水は一気に増水します。増水した川にとり残されたり、近づいたりすると、最悪、『大切な命』を失うことにもなってしまいます。そうならないために、下の『川に行く時の約束』を心に刻み、川が増水するような時は、決して川で遊んだり、近づいたりしないように下さいね。

なお、大隅河川国道事務所のHP (<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>) のトップページに【河川水難事故防止 川で安全に楽しく遊ぶために】という題名で「川が増水に対する注意情報」を掲載していますので、ご覧になり、参考にしてください。

～川に行く時の約束～

★以下のような時に、川に近づいたり、遊んだりすると川に飲み込まれる可能性があるので川から離れよう！！★

雨が降り始めた時

【どうしてなの？】

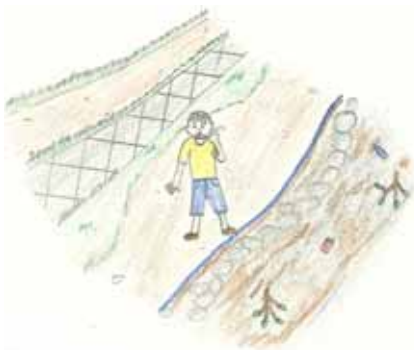
雨が降ると急に川の水位(水かさ)が増えたり、堤防の草やコンクリートブロックは滑り易くなり、怪我をする可能性があるから



- 1) 川の水が急ににごり出した時
- 2) ゴミがたくさん流れている時
- 3)にごった水(茶色の水)が流れていて、水面が波をうっている時

【どうしてなの？】

普段に比べ、川の水の力は強くなって
いる可能性があるから



雨は降っていないが、いつもより川の水位(水かさ)が高いと思うとき

【どうしてなの？】

上流で雨が降り続けていることが原因で、水位が普段より高いことが想定される
そのため、普段に比べ、川の水の力は強くなっているから



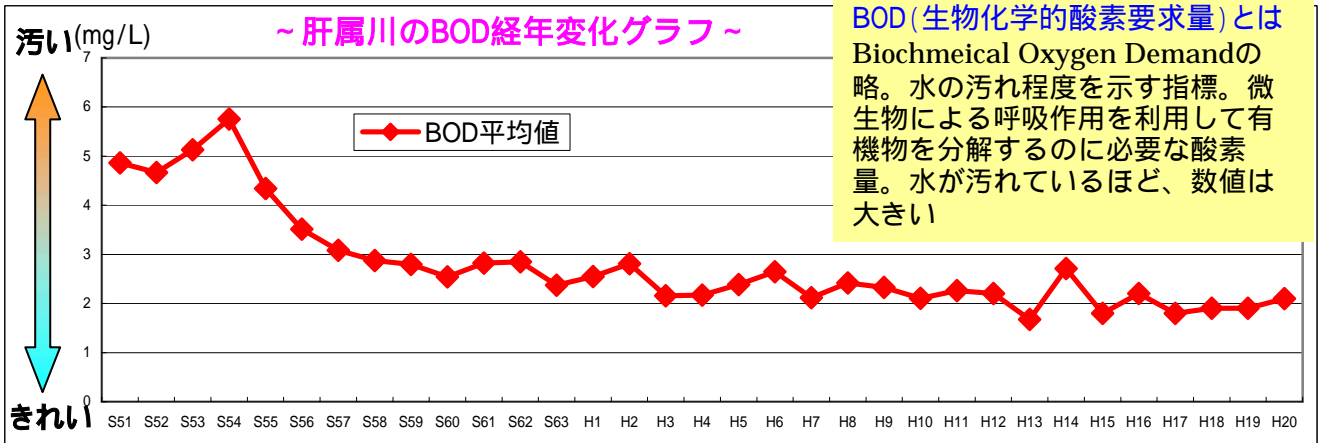
平成20年の肝属川の水質について

平成20年のBOD平均値による水質ランキングが発表されました。肝属川は残念ながら、九州の主要河川26河川中26位(平成19年は26河川中25位)という結果となりました。

但し、水質が悪化しているという訳ではありません。平成19年や近年10ヶ年と比べると、ほぼ横ばいといったところです。

Q: 水質ランキング(順位)とは?

A: 国が管理する九州内の一級河川20水系26河川を対象に水質の汚れ具合の指標である「BOD」という値を以て、数値の小さい(水質がきれい)方から順番にランキング付けを行ったもの。集計結果をまとめるのに1年を要するため、発表は1年遅れの平成20年が最新年となる。



肝属川の水質は、昭和50年前半頃はBOD値で5.0mg/l前後を推移していましたが、ここ最近3ヶ年(H18,H19,H20)は、BOD値で2.0mg/l前後と、昔に比べると格段に改善されています。これも「肝属川をきれいにしたい」「汚れた水はなるべく川に流さない」といった考え方やそのための行動が、流域に住むみなさんに広がってきたことが大きく寄与しているものと思います。

しかし、私たちの古里の川である肝属川が、九州内の河川の中で『1番きたない川』という不名誉なレッテルを貼られた状況を黙って見過ごす訳にはいきません。

現在、国土交通省では、肝属川の中で一番水質の悪い鹿屋市街地部の水質改善を図るため、第二期水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンス)に基づき、県・市・地域住民と連携して、下水道整備、合併浄化槽の普及、家畜排泄物対策、河川の水質浄化施設整備などの取り組みを実施しているところです。そのうち、国の事業として、肝属川へ流れ込む汚濁の著しい排水路の水質を直接きれいにする水質浄化施設(鹿屋市打馬:防災ステーション敷地内)を平成22年3月に完成する予定で、我々としてもその効果に大きく期待しているところです。

皆さんも家庭でも出来る工夫に心掛けて頂き、来年こそはベスト1位とは行かなくても少しでも上位に入れるよう、一緒に頑張りましょう!

～同じ鹿児島県内の一級河川である川内川の水質に追いつき、そして追い越しましょう!～

家庭でも出来る工夫

私たちの日常生活においても汚れを少しでも小さくするように工夫すれば川はきれいになりますよ。以下に家庭でも出来る工夫として、1例を紹介いたします。ぜひ、ご家庭でも実践して下さい。



九州内一級河川のBOD平均値水質ランキング

順位	河川名 <small>は支川を示す。</small>	調査箇所 地点 県名	平成20年			平成19年
			平均値	BOD平均値の範囲	BOD 75%値	BOD 平均値
1	1 川辺川(球磨川)	5 熊本県	0.5	0.5 - 0.5	0.5	0.5
2	2 厳木川(松浦川)	3 佐賀県	0.6	0.5 - 0.7	0.6	0.6
3	2 小丸川	2 宮崎県	0.6	0.5 - 0.6	0.6	0.6
3	2 五ヶ瀬川	2 宮崎県	0.6	0.5 - 0.6	0.6	0.6
5	2 本庄川(大淀川)	3 宮崎県	0.6	0.5 - 0.6	0.6	0.7
7	6 球磨川	7 熊本県	0.6	0.6 - 0.7	0.7	0.8
10	7 白川	3 熊本県	0.8	0.7 - 0.8	0.8	0.9
15	7 菊池川	5 熊本県	0.8	0.6 - 0.9	0.8	1.1
6	9 番匠川	3 大分県	0.9	0.7 - 1.0	1.1	0.7
10	9 山国川	6 福岡県 大分県	0.9	0.8 - 1.0	1.1	0.9
12	9 緑川	4 熊本県	0.9	0.6 - 1.1	1.1	1.0
9	12 川内川	7 鹿児島県	0.9	0.6 - 1.6	1.2	0.9
7	13 筑後川	12 福岡県 大分県 熊本県	1.0	0.7 - 1.6	1.1	0.8
12	13 大分川	4 大分県	1.0	0.8 - 1.1	1.1	1.0
16	13 矢部川	3 福岡県	1.0	0.8 - 1.2	1.1	1.1
19	13 大野川	3 大分県	1.0	0.6 - 1.3	1.1	1.3
16	17 本明川	4 長崎県	1.0	0.8 - 1.6	1.2	1.1
14	18 犬鳴川(遠賀川)	2 福岡県	1.1	1.0 - 1.1	1.3	1.0
18	19 松浦川	4 佐賀県	1.3	0.8 - 1.7	1.3	1.2
20	20 嘉瀬川	4 佐賀県	1.3	0.6 - 1.9	1.8	1.3
22	21 牛津川(六角川)	3 佐賀県	1.4	0.8 - 2.4	1.6	1.6
21	22 大淀川	7 宮崎県	1.4	0.7 - 2.4	1.7	1.4
26	23 遠賀川	5 福岡県	1.6	1.3 - 2.4	1.6	2.0
24	24 彦山川(遠賀川)	3 福岡県	1.6	0.9 - 2.0	1.9	1.8
23	25 六角川	4 佐賀県	1.9	1.1 - 3.0	2.2	1.6
25	26 肝属川	4 鹿児島県	2.1	0.9 - 3.1	2.6	1.9
		平均	1.1			1.1

(報告下限値を0.5mg/Lとして集計)

評価方法: 順位は、BOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合は、75%値により評価している。

川の声のアンケート調査について、ご協力お願いします(*^_^*)

肝属川の情報紙「川の声」について、みなさまの意見をアンケートという形でお聞きし、今後の「川の声」の発行に役立てたいと思いますので、是非ともアンケート調査へのご協力よろしくお願ひします。

アンケートの送信方法について

FAXの場合:0994-65-9630まで本紙をFAXして下さい。(送信票、送信者名などは不要です)

HPからの場合:大隅河川国道事務所HP (<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>) にアクセスしますと、トップページにある「目的から探す」の「知る」の中に「川の声」の項目 (<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/kawanokoe.htm>) がありますので、このボタンをクリックし、この中にあります「アンケート」に記入し、送信ボタンを押して下さい。

郵送の場合:申し訳ありませんが、80円切手(自己負担)を貼り、下記の住所及び担当者まで本紙を郵送して下さい。

〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1

大隅河川国道事務所 調査第一課 原田まで

肝属川情報紙「川の声」についてのアンケート

- 性別について、該当箇所の () に○を付けて下さい。
男性 () 女性 ()
- 年齢について、該当箇所の () に○を付けて下さい。
10代 ()、20代 ()、30代 ()、40代 ()、50代 ()
60代 ()、70代 ()、80代 ()、90代以上 ()
- お住まいについて、該当箇所の () に○を付けて下さい。
鹿屋市(旧鹿屋市) () 肝付町 ()
鹿屋市吾平町 () 東串良町 ()
鹿屋市串良町 () *その他【 】
*上記以外の市町に在住されている方は、その他の欄に市町名を記載して下さい
- 現在、肝属川について、様々な情報を掲載している「川の声」は、年4回(3ヶ月ごとに1回)発行していますが、発行回数について、どう思いますか? 該当箇所の () に1つだけ○を付けて下さい。
①今までどおり(年/4回:3ヶ月ごとに1回)の発行が良い ()
②年6回(2ヶ月ごとに1回)の発行が良い ()
③年2回(半年ごとに1回)の発行が良い ()
④年1回の発行が良い ()
⑤発行しなくて良い ()
⑥上記以外【 】 ←発行回数を記載して下さい
- 鹿屋市(旧鹿屋市)、鹿屋市吾平町、鹿屋市串良町、肝付町、東串良町に在住する方のみ、お答え下さい。
現在、川の声は各世帯に全戸配布していますが、今後どのような配布方法で配布することが良いと思いますか? 該当箇所の () に1つだけ○を付けて下さい。
①今までどおり各家庭の手に届く配布方法が良い【従来どおり】 ()
②各振興会の町内回覧で良い(全戸配布は不要) ()
③大隅河川国道事務所のHPに掲載する方法だけで良い ()
④配布しなくて良い【川の声は不要である】 ()
⑤上記以外【 】 ←方法について記載して下さい
- 現在、「川の声」は肝属川に関する様々な情報(防災、水難事故防止、河川環境、地域の活動情報など)を発行時期に合わせて掲載していますが、その情報についてどう思いますか?
該当箇所の () に1つだけ○を付けて下さい。
①役に立つと思う () → 7へ
②役に立たない () → 8へ
③どちらとも言えない ()
- 「川の声」の情報について、役に立つとお答え頂いた方におたずねします。どのような情報が役に立つと思われましたか? 下のカッコ内に記載して下さい。
- 「川の声」の情報について、役に立たないとお答え頂いた方におたずねします。どのような情報が役に立たないと思われましたか? 下のカッコ内に記載して下さい。
- 川の声について、なんでも結構ですので、思ったこと、感じたことを下のカッコ内に記載して下さい。

～ ご協力ありがとうございました。 ～

出前講座で肝属川ことを一緒に学ぼう

右のような内容を中心に肝属川に関する話や調査をするため、いつでも学校、公民館、地域団体などへ出前講座に伺いますので、気軽に依頼して下さい。
依頼料は無料です。子ども達の総合学習や育成の場としてご活用下さい。

講座名	講座の内容
肝属川の河川整備について	肝属川の水門・樋管・護岸などの河川整備について紹介
肝属川の治水・利水・環境	肝属川の治水・利水・環境など生活との関わりについて紹介
肝属川の水質・水生生物調査	肝属川の水質調査や魚などの水生生物調査を現地で実施



【肝属川の講話】

肝属川のなりたちや過去に発生した水害、肝属川の上流～河口までの様子、防災、水質、生き物、ゴミ問題、地域の活動など肝属川に関わる話をスライド形式で講義します。



【水質調査・簡易水生生物調査】

自分たちの身近な川へ出向き、簡易水質測定用具を用いて、水質の状況を調べたり、川に生息する生き物を採取し、この生き物は何なのかを図鑑で調べて、川に生息する生き物を学ぶなどの野外体験講座も行っています。
 【道具等は全て当方で準備】

出前講座のお申し込み・お問い合わせはこちらまで。
 大隅河川国道事務所 広報室 TEL 0994-65-2541
 FAX 0994-65-7033



肝属川の水質 お近くの川の汚れ具合です

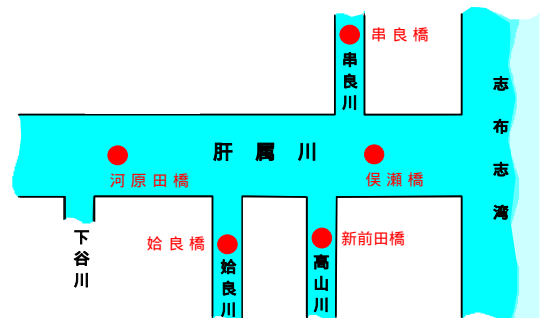
BOD（生物化学的酸素要求量）：微生物が汚れを分解するときに必要な酸素量。汚れているほど、値が大きい。

水質状況（BOD値）

市・町	調査地点	7月	8月
鹿屋市朝日町	朝日橋	2.9	0.8
鹿屋市川東町	河原田橋	2.2	1.5
鹿屋市吾平町	始良橋	0.8	0.5未満
肝付町	新前田橋	1.0	0.6
鹿屋市串良町・東串良町	串良橋	0.9	0.5
全箇所合流後	俣瀬橋	1.1	0.9

数値の目安

- 1以下：人為的汚染のない川
- 2以下：泳げる。サガニ、イワの生息
- 3以下：アリの生息
- 5以下：コイ、ワの生息
- 5以上：イナズナ、ヌイソウの生息



あとがき

毎日のように晴天が続いた8月も過ぎ、ようやく9月に入りましたが、まだまだ、厳しい残暑の日が続きますね。

さて、今回の「川の声」は水に関する話を中心に作成しました。特に初面でも記載している『ゲリラ豪雨による急激な河川の増水』には、みなさん十分に注意して下さい。

よりよい川づくりを行うには、皆さんの川に対する思いや、川づくりへの意見が必要です。どんどんご意見をお寄せください。

* 肝属川に関する意見、質問、何でも...
 〒893-1207 肝付町新富1013-1
 大隅河川国道事務所 調査第一課（東、原田）
 tel:0994-65-2993
 fax:0994-65-9630
<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>
 e-mail: osumi@qsr.mlit.go.jp